

□ 要請番号 (JL12718A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ソロモン	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・2018/3・2018/4・ 2019/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育・人的資源開発省

2) 配属機関名 (日本語)

サン・イシドロ・ケアセンター

3) 任地 (ガダルカナル州サン・イシドロ) JICA事務所の所在地 (ホニアラ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 1.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

2007年に設立された障害児・者のための職業訓練校である。教育省及びカトリック系の教育団体からの予算で運営されている。4年制の全寮制の職業訓練校で、木工、農業、家政コースが設置され、最初の2年間は男子生徒は農業と木工、女子生徒は農業と家政を学ぶ。後半の2年間は専門コースを1コース選択し、より高度な技術を学ぶ。教職員17名、生徒約70名。学校の年間予算は、42万ソロモンドル(約600万円)である。「手に職をつけ、卒業後自宅に戻り自立した生活を送れること」を目標に職業訓練が行われている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ソロモン国内でも珍しい障害児・者を対象とした職業訓練校である。生徒は全国から集まってきており、今後生徒数の増加を見込んでいる。障害児・者教育の環境が十分に整っていないソロモンなので、配属先に在籍する生徒は学校に通っていない、もしくは、小学校6年生卒業程度のもが多い。配属先では、農業、木工、家政の実習に加え、基礎学力を補てんするため数学、英語の授業も提供している。しかし、慢性的な教員不足が続いており、今回の青年海外協力隊の要請に至った。また、配属されている教員も職業訓練校卒が多く、教員・生徒共に教育の質の向上への貢献も求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の一員として同僚教員と共に下記の活動を行う。

1. ボランティアの得意分野に応じて、農業、木工、家政のいずれかの実習(※)を担当する。

(※)木工:机、椅子、キャビネットなどの家具の製作、農業:トマト、ピーマン、さつまいもなど一般的な野菜の栽培、家政:かぎ針編み、ミシン、料理など

2. 可能な限り、課外活動・学校行事に参加する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

職員室(机・椅子、パソコン、プリンター)、ミシン、木材加工機械(カンナ盤、切断機など)、農業用具(スコップ、草刈用ナイフなど)

4) 配属先同僚及び活動対象者

全教職員17名(25-40歳)

木工(3名)、農業(3名)、家政(3名)、一般教科(数学・英語)(3名)、手話通訳(教員3名、ボランティア2名)
全校生徒約70名(男性50名、女性20名)

対象者は、聴覚障害者が多いが、手話は手話通訳が担当

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： () 備考：

[性別]： (男性) 備考：男子生徒が多いため

[経験]： (指導経験) 3年以上 備考：実習を通じた指導となるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]： (熱帯雨林気候) 気温： (25～35℃位)

[電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可)

[水道]： (不安定)

【特記事項】

任地での現地語学研修では、英語を使用して現地共通語(ピジン語)を学習。現在、インターネットは2Gの携帯電話回線のみだが、3Gの電波塔を建設中のため、赴任時期には、インターネット環境向上の見込。